



青南だより

令和2年5月号

港区立青南幼稚園
園長 新山 裕之

＜誕生日は、ありがとうの日＞

毎年お伝えしている大事なことです。こどもの日は、「こどもの人格を重んじ、こどもの幸福を図るとともに母に感謝する日」なのです。私は誕生会で「今日はみんなにおめでとうと祝ってもらえるうれしい日だけれど、あなたが元気にここにいられるのは、あなたを産んで育ててくれたお母さん、お父さん、お家の人のお陰だよ。だから、『産んでくれてありがとう、育ててくれてありがとう』という日だよ」と話します。子どもが元気に育つことは、簡単ではない有り難いことなのです。

＜制限があるからこそその発見も＞

先日来、ホームページのブログや小さなコラムで園内の自然の営みをお伝えしています。自宅の周辺やベランダでも、自然を感じることはできます。自然を見る視点や感性を磨くには、空間が限られているからこそ、時間や天候などによる変化を見るには好都合です。先週の園庭の定点観察では、チューリップやたんぽぽは、日が高くなるに連れて花が開いていき、夕方には閉じています。パンジーやビオラ、ツツジなどは変わりませんでした。同じ花なのに、不思議ですね。

＜命をつなぐ自然の営みから学ぶこと＞

たんぽぽやカエデは、風などを利用して園内の至るところに新しい命をつないでいます。みゆき通りの街路樹のエンジュは、鳥に子孫繁栄を委ねています。昨秋、園庭にヒヨドリがたくさん飛んで来ていました。葉の落ちた園庭の木の枝で一休みしながら落としていったフンの中に、エンジュの黒い種がたくさんありました。そして、それがこの春、次々と芽を出しているのです。子育てについて考えるときに、自然の力に任せて、できることをする植物の命の営みから教えられることが多いと思うのですが、皆さんはいかがですか。

・・・皐月（さつき）・・・

りっか
立夏（5日）… 初夏の風を受けてこいのぼりが泳ぎます …

しょうまん
小満（20日）… 園庭の緑がぐんぐん膨らみます …

5月5日はこどもの日です。子どもたちの健やかな成長を願い園庭にこいのぼりが泳ぎます。園庭のあちこちで、動けないはずの草や木々が、命を輝かせ嬉々として活動している声が聞こえるような季節です。草花の前でしゃがんで、相手の目線に合わせて見ると、意外な真実が見えてきます。実はこれ、子どもと関わる私たち教師にとっては、基本の構えでもあるのです。

青南の 二十四節気



気持ちよさそうに空を泳ぐこいのぼり



昨年は、5歳児が作ったこいのぼりを
駅などにお届けしましたが・・・



今年は教師の作品をメッセージとともに
駅や交番などにお届けしました。



切り株の中にはエンジュの芽や笹竹が・・・



カエデの赤ちゃんはこんなところにも